

2016年

8月号

カトリック笹丘教会

教会 ニュース

福岡市中央区笹丘1-16-1  
☎761-4504 F761-4524  
広報委員会

福岡教区今年度の目標…「いつくしみ深く、御父のように」  
小教区今年度のテーマ…「届けよう、神のいつくしみを共に」

平和旬間に寄せて



主任司祭 遠山満

先月の26日、神奈川県相模原市の障害者福祉施設で、入所者の19人が死亡、27人が重軽傷を負う大変な事件が起こりました。テレビの報道を聴きながら、私は初め、外国でまたテロ事件が起こったのではないかと思っていたのですが、そうではなく、日本国内での事件と知り、戦慄を禁じ得ませんでした。犯人は、ヒットラーの思想に傾倒しており、事件前に、「障害者は死んだ方が良い」と呟いていたとも言います。

私が、この事件の報道を聴きながら思い出したのは、クロアチア人の一人の友人の事でした。彼には、4人の子供がいますが、長男でいらっしゃる第二子と二男でいらっしゃる第三子は、出生前診断の際、障害があると診断され、中絶した方が良いと医師から勧められました。彼は初め、「自分はカトリック信者だから、中絶はできない」と答えました。それでも、医師が中絶を勧めてきたので彼は、「先生、今の御自分が、事故に遭って車いすでの生活をする事になるとします。そんな先生を、誰かが殺しに来たら、どんな思いですか」と尋ねました。それに対して医師は、「そんなバカな事があるはずがない」と答えられたのです。この医師が、「そんなバカな事」と言われた事が、今回、日本で実際に起こった事件です。

ところで、日本は不思議な国です。一方では、今回のように、障害者の福祉施設で大量殺人が起これば、誰もが怒りの声を上げ、国中が震撼します。他方、出生前診断が流行し、胎児に障害があれば、産まない選択が両親によってなされ、障害を負った子供達が殺されていきますが、こちらは黙認されています。私は、この事に関して、果たして両者の間にどのような命の違いがあるのだろうかと考えずにはられません。

日本の民法には、胎児の人権は認められていませんが、今から25年前、上智大学で行われた国際生命尊重会議で胎児の人権宣言が採択されました。この人権宣言では、胎児が受精の瞬間から人間であり、人権を有し、この人権は誰によっても侵されてはならないことが謳われています。胎児から高齢者まで、障害があろうとも無かろうとも、皆の命が大切にされる世界を目指さなければ、第二、第三の相模原事件が起こるでしょうし、また本当の意味での平和な世界は築かれないのではないかと思います。

## カトリック笹丘教会 役員会議事録

開催日時：2016年7月30日（土）16：00～17：40 開催場所：信徒会館

出席者：川原、松尾、前田（美）、前田（史）、畠山、川原（圭）、牧山

欠席者：遠山神父 司会：川原 書記：牧山

始めの祈り—熊本地震被災者のための祈り

### 1. アウグスチノ祭について

日程：当初 8/28（日）に予定していたが、8/27（土）の夕方に変更する。夜7時のミサの時間を6時に早めてもらうよう主任司祭に相談する。

招待状：招待状作成担当（畠山）。リストは教会事務所から入手する。

プログラム：スイカ割り 他も検討する

食事メニュー：バーベキュー、ソーめん、おにぎり、飲み物（ジュース、お茶）

参加費：大学生以上 500円 それ以外は無料。アルコール（缶ビール）は有料。

参加希望者名簿：準備の都合上参加希望者名簿を準備し記入してもらう。

### 2. 堅信式について

日程：9/4（日）

パーティ：仕出し※予算を確認する 巻き寿司、いなり、唐揚げ、ポテト、枝豆

### 3. 年間テーマの具体的な取り組みについて

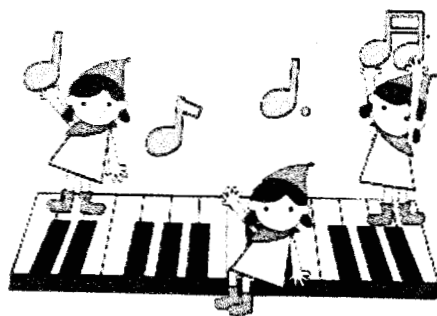
会長より、教会に来ていない人に、教会ニュースを届けてはどうかとの提案がなされた。人数が多く毎月は大変なので、ご復活やクリスマス等、年に数回まとめて届けてはどうか等の意見が出された。

### 4. その他（畠山さんからの報告）

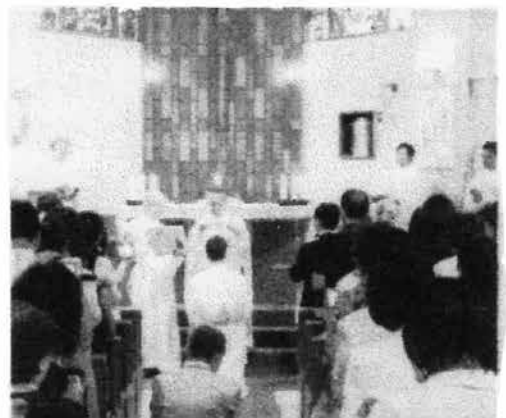
信徒使徒職協議会で、熊本地震被災地のボランティアを経済的に支援し、信者のボランティアを増やす目的で予算を確保している。1回のボランティアに高速代、ガソリン代として1万円支給するが、一旦小教区で立替えることになっている。信徒協の集まりはこれまで大名町教会で行われてきたが、今後は各小教区を巡って行われる。

### 5. 今後の予定

- ・8月6日（土）樹木の剪定 参加者には弁当・お茶を支給する
  - ・8月7日（日）被昇天の前の大掃除
  - ・8月15日（月）聖母の被昇天
  - ・8月27日（土）役員会、アウグスチノ祭
  - ・9月2日（金）アンナ・ヨアキム
  - ・9月4日（日）堅信式
  - ・9月10日（土）樹木の消毒、ワックスかけ
  - ・9月11日（日）拡大信者会
- 終わりの祈り—家族の祈り



7月23日(土) ヨハネ松尾太神学生の助祭叙階式・ミサが葛西教会において東京教区の岡田大司教様の司式で執り行われました。



神様が松尾助祭様のうえに司祭叙階のお恵みを与えてくださるようみんなで祈りましょう。

## 東日本大震災から五年、寄り添いはまだ続く

東日本大震災の後、仙台に住む日カ連の副会長、阿部正子さんから仙塩地区婦人会（石巻の会津神父様）の活動の支援を頼まれた。南三陸の現地にも出向き、窮状を知った私はこの5年間は南三陸の、特にフィリピンから嫁いで来ている女性たちの応援を手伝った。仙塩地区婦人会の方々には仮設住宅を訪ねて彼女たちに（二ヶ月に1回）米、みそを送り続けた。物資を届けながら心のつながりも出来て行った。次第にお互いの言葉の壁を乗り越え、まさにいつくしみを届け続けた五年であった。幸いにも南三陸の仮設は5年をもって閉鎖された。

しかし、福島第一原発の問題は未解決で東北全部が復興したわけではない。行政の手の届かないところへと会津神父様たちの支援活動は終わらない。

南三陸の次は福島第一原発から20km圏内の福島県楡葉町の聖母訪問会のシスター3名の応援に乗り出された。楡葉町は2015年9月に避難指示が解除され、故郷の町には少しずつ町民が戻りつつあるが、帰ってくるのは高齢者が多い。インフラの整備も遅れている町に戻っても不自由な生活だ。しかし、故郷に帰りたいとの思いが強い高齢者だか、隣には必ずしも人はいない。孤独だ。シスター方は帰宅がようやく許された地域に住み、やっと帰った来た数少ない住民たちに寄り添っておられる。

これからも細々ながら私もいろいろな方の協力をお願いしながら、仙塩地区の婦人たち、そして、会津神父様、シスター方と繋がっていきたくと祈る。

今年も、福島の桃とりんごを販売し、売り上げを楡葉町のシスターたちのお役に立てたい。これからもご協力をお願いします。

川原圭子

### 今年度小教区テーマ

届けよう、神のいつくしみを共に

あなたは、だれに、何を届けますか



キリスト教とはまったく無縁の環境で生まれ育ちました。

知り合った夫が長崎出身で、家族、親戚、熱心な信者で、聖職者も何人もいるほどでした。

夫の両親の切なる願いが、私に信者になってほしいということで、それもありかな〜と今思えば簡単に(?)その気になりました。

夫の祖母にあいさつに行った時、(かなりのご高齢でした)祖母からも熱望されました。祖母の脇のテーブルにはたくさんの口ザリオの入ったコップが2個ありました。この口ザリオは、誰のため、これは誰のため・・毎日祈っていたそうです。もちろん夫の口ザリオもありました。「あなたの分もしなくちゃね」と・・・私の気持ちがあはつきりかたまったように思います。

実家の近くの小さな教会に通い、洗礼を受けさせていただきました。

結婚当時、近くに住んでいた夫の両親は、信者になったばかりの嫁を信仰から離れさせてはなるかと、毎日曜日、ミサに連れ出してくれました。

下の子が幼稚園に入って、神父様、シスターの2つの聖書講座に入りました。カトリックのこと、聖書、何も知らないな〜との思いからでした。初めて自分から動き出したときです。それがきっかけで、教会の役割を与えていただき、いろいろな行事にも参加するようになりました。かけがいのない友人も何人もできました。

私の信者としての始まりはなんとも不確かなものでしたが、家族、周りのかたがたに、しっかり支えていただいて、なんとか今まで過ごしていくことができました。

つらい時、苦しい時に、神さまの存在は大きな支えといつも実感します。そして、うれしい時、楽しい時も神さまに感謝ですね。 (匿名希望)



## 編集後記

リオオリンピックが無事開幕して、競技は今のところ、滞り無く進行しているようで、気楽にスポーツドラマ（熱戦）を楽しんでいる。世界のいたるところでテロが勃発しているので、関係者ではなくとも開催まで不安、現地の治安にも不安を感じていたと思う。リオの都市もオリンピックに予算が取られて住民に満足な手当が与えられなくなり、その不満で反対過激行為もあったのでなおのことだ。4年後は東京だ。それまでに日本国内は、被災地も安定し、原発問題も解決して、国民皆が笑顔でオリンピックを迎えるようでありたい。そして、くれぐれも、酷暑や水不足など自然災害に合わないよう神様に祈りたい。世界のビックイベントのオリンピック時だけでも世界平和のために日本に良い気候の流れを下さい・・・いや、その前にリオオリンピックが、大きな事故がなく、無事閉幕まで滞り無く競技が行われますように！！（J.N）